

# 松浜太鼓保存会



## Profile

北新潟商工振興会青年部により「松浜まつり実行委員会太鼓部」が発足。日本海と阿賀野川の四季をモチーフに故永島鼓山氏により創作された「松浜太鼓」をレパートリーに1976年(昭和51年)正式に産声を上げました。

当時のメンバー構成は、北新潟商工振興会青年部有志が中心となり打ち手グループを結成、松浜祭りの核として脚光を浴び華々しくデビュー。変化に富んだ四季の大自然と、表情豊かな人々の機微を和太鼓演奏でダイナミックに表現し、毎年松浜祭りには欠かすことのできない創作和太鼓芸能「松浜太鼓」として活躍してきました。

年号が昭和から平成に変わり活動範囲も年々広がり年間60～70回以上の演奏活動を展開してきましたが、結成から10年を機に保存会を設立。当時からのレパートリーに加え「漁火(いぎりび)・北新(ほくしん)ばやし・集(つど)い・颯爽(さっそう)」など新曲を導入、演奏に厚みを加え、近隣市町村行事や、多方面で開催されるイベント出演、そのほか伝統芸能としての演奏披露及び県内外・海外など広範囲にわたり活動を継続、新たな仲間たちと共に日々努力を重ね北区の郷土芸能として活躍しています。

現在は、地元まつり行事及び近隣市町村の福祉施設訪問演奏を軸にイベント出演・学校行事・婚礼・祝賀会など各種催し行事に出演。新潟市北区の郷土芸能「松浜太鼓」としてメンバー各自が自覚と誇りを胸に演奏活動に従事しています。